

伊与喜小学校

毎日笑顔で、

『明日も行きたい』

と思える学校づくりを

校長 川村 美香

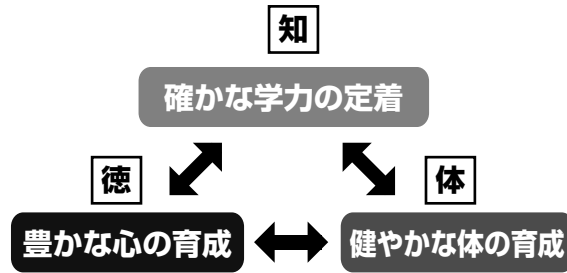
◆はじめに

本年度は、昨年度に引き続き新入生を迎えることなく、4名減の全校児童数6名(4・5・6年生)、教職員数5名で教育活動をスタートしました。学級数は3(単式学級1、複式学級1、特別支援学級1)、家庭数は5になりましたが、各種学校行事や学習活動に、これまで以上に工夫改善をしながら、保護者・地域・学校が三位一体となって取組を進めています。



◆学校教育目標

『自ら学ぶ意欲と豊かな心を育み、たくましく未来を切り拓く児童の育成』
本年度の重点目標



◆確かな学力の定着<知>

研究主題を「意欲的に学び、こつこつ努力し、自ら行動できる児童の育成」算数科を通して「とし、算数科を中心に研究を進めています。」

①複式授業スタイルを基に、個に応じたきめ細かな指導

②ユニバーサルデザインの視点を大事にしながら児童が学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業実践

③意図的に言語活動を仕組み、表現し合

い学び合いを深める場の確保



④講師を招いた校内研修の実施

⑤放課後学習の時間の確保

⑥次時の授業とリンクさせた家庭学習(予習)への取組

⑦学校図書館を活用する時間の設定(帯タイム)

⑧読書への意欲化を図るための取組

など、少人数での授業スタイルの確立と個人指導の徹底を図るとともに、予習に基づいた授業の進め方とコミュニケーションの取れる間接学習の工夫について研究を進めていくことで、児童が主体的・協働的で深い学びとなるよう、積極的に授業改善を図っていきます。また、授業以外に、放課後学習や家庭学習、読書の習慣化などへの取組を行うことで、基礎学力の定着と学力の向上を図っていきます。

◆豊かな心の育成<徳>

人権教育・道徳教育を核にし、全ての教育活動において、毎日笑顔で「明日も行きたい」と思える学校づくりを推進します。

①授業の中で、共に認め支え合える場の設定(自尊感情を高める)

②あいさつの徹底(「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える)

③丁寧な言葉遣いの習慣化

④全校道徳の実施

⑤人権参観日と道徳参観日の実施

⑥人の役に立つことを実感させるボランティア活動の実施

日々の授業だけでなく、学校行事や体験活動などによる集団づくりも積極的に進めています。また、毎月、定期的にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーおよびスクールヘルスリーダーを交えた校内支援会を実施することで、児童の変化に対する早期対応と、いじめや不登校の未然防止に向けた取組につなげていきます。



◆健やかな体の育成<体>

体力および運動能力の向上に向けて、年間を通した業間運動や体育の授業の工夫、生活調べによる基本的な生活習慣の啓発活動など、計画的に取組を進めています。

①意欲が高まる体育の授業実践

②運動および体力面における課題克服に向けた取組の継続的な実施

③年間を見通した生活調べの実施と積極的な啓発活動

④授業を通して、児童の生活態度についての振り返りと改善に向けた意識改革の推進

◆おわりに

黒潮町全体で取り組んでいる「Wii」～あなたの思いを旗に～プロジェクトに伊与喜小も参加をしています。国道からもよく見えるよう校庭のフェンスに掲げています。互いが思いやり、人と人のつながりを、地域とのつながりを大切に思う心を育成するとともに、明るい未来を、明るい黒潮町を創造する児童の育成に向けて、今後も、取組を進めていきます。

入野小学校

GRIT(やりぬく力)で、
FCP能力を高める!

校長 前田 浩文

◆はじめに

この春、24名の新入生を迎え、全校児童121名で、2020年度の教育活動がスタートしました。ところが、その4日後に新型コロナウイルスの感染拡大により約1カ月間、臨時休校を余儀なくされました。

社会の変化に対応できる人材を育成するための学習カリキュラム(学習指導要領)が今年度より全面实施されたのも時代の必然のような気がします。

どんな状況になっても、自ら考え、判断し、未来を切り拓いていける子どもたちに育ってほしいと願っています。

◆学校教育目標

「GRIT(やりぬく力)で、FCP能力を高める!」

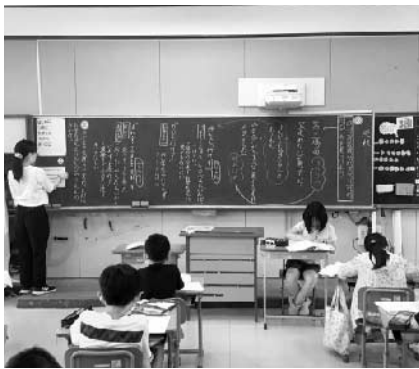
今年度もGRITを教育目標に掲げました。これは、学校の生活全般を通して、相互に作用し、何かを生み

出す力(F・ファシリテーション能力)と互いに協調・協働することができる力(C・コミュニケーション能力)、そして、大勢の前でも堂々と発表をやり抜く力(P・プレゼンテーション能力)を高め、子どもたちが何事に対しても、あきらめずに最後までやりぬいてほしいという願いを込めています。

◆学力向上

本校の学力を学力調査結果で観ると、活用力(根拠を基に筋道を立てて説明する力)に弱さがあります。

その課題を克服するために、昨年度は文部科学省の「主体的・対話的で深い学び」指定事業を受け、算数科を中心に研究を進めてきました。今年度は、国語科に焦点を



当てて研究を始めました。

全学年の授業のルーティンは、「めあてとまとめをしつかり押さえ、習ったことの振り返りを着実にを行う」、「1時間の中で必ず対話の場面を設ける」、「ノートに自分の考えや友だちの考えを書く」、「子どもたちのノートが整理しやすいように板書をする」、「目で見てわかりやすくするためにICT(※)を活用する」ことです。

このことを日々繰り返し返すことで、上述した3つの力(FCP)の育ちを期待しています。

※情報通信技術のこと。通信技術を活用したコミュニケーションを指す。

◆思いやる心

コロナ禍で沈みがちなみんなの心を晴らそうと、児童会や委員会が放送朝会を利用して、うれしかったことや楽しかったことなどを紹介したり、自分たちで考えたクイズを出したり、読み聞かせをしたりなど、生活をより良く楽しいものにしてしようと、主体的に活動しています。

授業では、道徳や人権学習

で人としての生き方を考えたり、人権教育参観日には、子どもたちの人権作文を紹介したり、講師を招いて講演会を開いたりしています。

◆体力向上

体力向上については、体育授業はもちろんのこと、運動会、水泳記録会、陸上記録会、マラソン大会などの行事と関連させながら、多様な動きと体力を高めるために年間を通して計画的に取り組み予定でしたが、今年度は、新型コロナウイルスで軒並み行事などの中止を余儀なくされています。できる範囲で工夫した取組をしていきたいと考えています。

◆まると教育祭

子どもたちが故郷を愛し、故郷に誇りを持ち、人の役に立つ生き方ができるようにと願って、地域総がかりで支援していくのが「ふるさと・キャリア教育」です。そのために、積極的に地域に赴き、地域の良いところや産業、商業、観光などについて聞き取り学習を行っています。

今年度は新型コロナウイルス

ルス感染防止のため、一堂に会さずIWKが撮影した子どもたちの発表の様子をケーブルTVなどで放映する予定です。詳細については、随時ご案内します。



◆つながり

平成30年度より、「入小の子どもを育てる会」(学校運営協議会)を発足させ、区長さんや民生児童委員、PTA役員さんなどに子どもたちの活動を直接・間接的に支援していただいています。また、「PTA子どもサポート部」に、校外学習の引率や裁縫実習、放課後学習、ピアノの伴奏、草刈りなど、多岐に渡って関わっていただいています。

子どもたちには、さまざまなお人との出会い、関わりを通して多くを学びとってほしいと願っています。